希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100−8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんやボランティア活動に役立つ情報などをお待ちしています。「さがしています」「がんばろう」「伝言板」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

さがしています

〈岩手県〉
☆宮古市鍬ケ崎上町の藤田和一さん（60代）へ
宮崎市の前田徳（めぐみ）さん（63）が携帯電話（090・7454・4127）に連絡を求めています。藤田さんは35年ほど前、大阪府のJR茨木駅前のサウナで支配人をしており、前田さんは当時の知人です。

〈宮城県〉
☆多賀城市桜木の佐藤匠さん（70代）、妻喜代子さんへ 東亜建設工業横浜支店の同僚だった和歌山県有田川町の浦川寧良さん（73）が心配しています。地元に戻った佐藤さんは東北電気保安協会に勤めていたそうです。「自宅（0737・32・2337）か携帯（090・5658・1298）に連絡ください」

☆石巻市門脇町にあった田代魚問屋の親戚の、沼津義明さんと姉の西口貞子さん（70代）へ 三重県紀北町の松前京子さん（75）が自宅（0597・32・2428）で連絡を待っています。松前さんの実家の船「千鶴丸」がサンマ漁をした時に田代魚問屋で世話になったそうです。「自宅に連絡ください」

☆仙台市若林区の山形邦夫さん（70代）一家へ
北海道恵庭市の広井威さん（69）が自宅（0123・33・1938）で連絡を待っています。「40年ほど前、恵庭の自衛隊駐屯地で同僚でした。被害の大きかった地域なので案じています」

〈福島県〉
☆いわき市の岩田芳夫さん（66）へ 北九州市小倉北区の井手一夫さん（70）が案じています。2人は約45年前、大阪市内で一緒にテニスをした仲間です。岩田さんは家業の布団店を経営、中学校でテニスの指導もしていたそうです。「自宅に連絡ください」

みつかりました

☆9日に掲載した岩手県陸前高田市の平川恵美子さんから、知人で東京都江戸川区に住む真新（まにい）国江さんに電話がありました。平川さん夫妻は郡内の妹の家に一時避難しており、希望新聞を見た陸前高田市の知人が「真新さんが捜している」と知らせたそうです。真新さんは「被災した人たちに使ってもらおうと、手提げ袋を縫っています。平川さんに送りたい」と話しています。

伝言板

被災地で困っていること、遠くから応援できることなどを情報発信するコーナーです。

▼アルバムの持ち主を捜しています 東北有数の水揚げ高があり、津波被害が著しかった福島県いわき市の中之作港。7日、港近くの集会所を片づけていた吉田忠正さん（67）に、見知らぬ人が「港の岸壁に打ち上げられていた」とアルバムを届けました。表紙が取れて台紙だけですが、宮城県石巻高のジャージーを着た少年たちが近鉄花園ラグビー場で並んだ集合写真のほか、「専科 第4期生 航海科 昭和56年4月」と書かれた記念写真など75枚が収められています。

吉田さんは「持ち主に返したい。心当たりのある方は希望新聞のファクス（03・3212・5177）かメール（kibou@mainichi.co.jp）に連絡ください。保管しております」と話しています。

福島県いわき市の中之作港岸壁に打ち上げられたアルバムの写真。石巻高のラグビー部らしきユニホーム姿の少年が写る（提供写真）

上「近鉄花園ラグビー場」で撮影された集合写真。「石巻高」の赤いジャージー姿で少年たちと引率の先生らしき男性が並ぶ 下制帽姿の若い男性ら3人が電車内で写った同じアルバムの1枚。写真の縁に「FUJICOLOR MAIZURU」とある（いずれも提供写真）

ツイッターでも随時発信

ツイッター（@mainichi_kibou）でも、被災した皆さんへのサポート情報や、各地の支援の動きを随時発信しています。これまでのツイートはこちらで検索できます。
http://bit.ly/frO91P

サポート情報 〜東日本大震災〜

11日現在

入浴

自衛隊が設置している仮設風呂と入浴できる時間は以下の通り。タオルは持参する。変更の場合あり。

〈岩手県〉津軽石小（13〜22時）▽山田高（10〜21時）▽山田南小（シャワーのみ、13〜21時）▽シープラザ釜石（12〜21時）▽盛小（10〜21時）▽米崎小（13〜22時）▽大槌ふれあい公園（12〜21時）

〈宮城県〉多賀城駅前（10時〜19時半）▽気仙沼小（女性8時〜13時半、男性14〜20時）▽本吉総合体育館（女性9〜12、15〜18時、男性12〜14、18〜20時）▽南三陸町ベイサイドアリーナ（女性13時〜15時半、18〜19時、男性15時半〜18時、19〜20時）▽石巻市消防本部グラウンド（10時〜19時半）▽青葉中（シャワーのみ、14時〜20時半）▽サン・ファン・バウティスタ・パーク駐車場（シャワーのみ、15時〜18時半）▽石巻市中央2市営駐車場（12時半〜16時半）▽大塩市民センター（シャワーのみ、14時〜20時半）▽小野市民センター（シャワーのみ、14時〜20時半）▽航空自衛隊松島基地（男性11〜13時、女性14〜16時）▽山下小（13〜23時）▽亘理町中央児童センター（13〜21時）▽蓬陽中（12〜21時）▽あづま総合運動公園（女性13〜17時、男性17時半〜21時）▽田村市総合体育館（17〜22時）▽いわき中央台公民館（12〜21時）▽ビッグパレットふくしま（乳幼児14時半〜15時、一般15〜21時）

福祉

■介護保険

厚生労働省は、サービス利用料の利用者負担について、3〜5月分の支払いを猶予する方針を示している。保険料も軽減措置が行われる見通し。すでに手続きを開始している保険者（自治体など）もある。

◆仙台市 自宅などの財産に5割以上の損害を受けた第1号被保険者（65歳以上）は、保険料の支払いが全額免除される。3割以上5割未満の被害が半額免除。3割未満は支払期限が最長1年間延長される。3月から来年3月まで13カ月間が対象。

介護保険料被保険者証（なくした場合は窓口で再発行可）▽り災証明書（即日発行可能なり災届出証明書でも可）▽損害保険等による補塡（ほてん）額を確認できる書類が必要。

来年2月までのサービス利用料の利用者負担も減免される。損害割合が3割以上5割未満の人は半額、5割以上が全額免除。

申請はいずれも5区と2支所の窓口へ。期限は来年3月末。問い合わせは各区役所に。

仮設住宅

仮設住宅の入居募集や説明会を開いている主な自治体の受付場所、問い合わせ先は次の通り。

〈岩手県▽◆宮古市 ☎01934・62・2111◆大船渡市 18日まで避難所、市役所☎0192・27・3111◆陸前高田市 各町地区本部、仮庁舎☎0192・59・2111◆釜石市 随時（昭和園、上中島多目的広場グラウンドは13日まで）避難所、仮庁舎☎0193・22・8261、8262

〈宮城県▽◆仙台市 2333戸を18日まで。市役所と宮城野、若林両区役所。市コールセンター☎0120・055・1150◆石巻市 2期分2000戸を14〜20日。市役所、支所、避難所☎0225・95・1111◆塩釜市 60戸を15日まで。市役所☎022・364・1111◆気仙沼市 15日まで全世帯意向調査。調査票は市のウェブサイトからダウンロードできる。市役所☎0226・22・6600◆多賀城市 1期分45戸を募集し締め切り未定。市役所☎022・368・1141◆岩沼市 受付期限など未定。市役所☎0223・22・1111◆東松島市 市役所、支所☎0225・82・1111◆亘理町 町役場☎0223・34・0507◆女川町 14日まで町仮庁舎☎0225・54・3131◆七ヶ浜町 1期分115戸を18〜30日。町役場☎022・364・2337◆南三陸町 津山町横山住宅（登米市）など計139戸を21日まで。町仮庁舎、避難所☎0226・46・1377

〈福島県▽◆白河市 市役所☎0248・22・1135◆須賀川市 194戸を15〜24日。市役所☎0248・75・1111

医療

12日に診療を予定している医療機関。余震による停電の影響などで、変更の可能性がある。

〈岩手県▽県立の大船渡、久慈、宮古、釜石と、せいてつ記念、国立釜石、三陸、盛岡赤十字は通常診療

〈宮城県▽◆仙台市 急患センター（若林区）は内科、小児科、外科で19時15分〜23時◆仙台市外 石巻赤十字は重症と重篤のみ▽塩釜市立、県立循環器・呼吸器病センター、栗原市立栗原中央、同市立栗駒、同市立若柳、赤石、真壁は通常診療▽気仙沼市立本吉は8時半〜11時半と13時半〜16時▽石巻港湾は内科のみ9時〜12時半（新患の受け付け不可）

〈福島県▽問い合わせは県地域医療課☎024・521・7221

〈茨城県▽救急医療情報システムで病院案内☎029・241・4199

給水

12日予定されている主な給水場所や問い合わせ窓口は次の通り。ポリタンクなどの容器持参が必要。（C＝センター）

〈岩手県▽◆一関市＝一関流通団地▽JR真竜駅▽川台中央公民館▽追分集会所▽花泉地域の給水所▽日形公民館◆大船渡市☎0192・27・3111◆陸前高田市☎0192・59・2111◆釜石市☎0193・23・5881◆宮古市☎0193・63・1115

〈宮城県▽◆気仙沼市＝市民会館前公園ほか☎0226・23・9900◆石巻市・東松島市（石巻地方広域水道）☎0225・95・6711◆塩釜市☎022・364・1411◆登米市＝新田公民館▽長沼フートピア公園ふるさと物産館前▽姿ノ倉生活C▽西郷改善C▽ドライブインいづみ◆栗原市＝築館、一迫、瀬峰、金成の各総合支所▽ほっと館◆大崎市＝田尻総合支所▽田尻地区公民館▽大貫地区公民館◆柴田町＝船岡小▽西住児童館▽船岡生涯学習C▽槻木生涯学習C▽農村環境改善C▽船迫生涯学習C◆多賀城市＝市役所上水道部庁舎前ほか給水車巡回☎022・368・1141◆女川町☎0225・54・3131◆亘理町＝中央児童C▽旭中央公園▽JR浜吉田駅前▽旧JA高屋出張所☎0223・34・1111◆山元町☎0223・37・1120

〈福島県▽◆いわき市 12日＝相馬市役所5階会議室（10〜15時）無料点検は不可▽喜多方市・押切川公園体育館（13時半〜15時半）▽14日＝伊達市・梁川体育館（13時半〜15時半）無料点検は不可▽12日＝北茨城市民体育館（10〜12時）と高萩市総合福祉センター（13時半〜15時半）

〈千葉県▽14日＝旭市立総合体育館（10〜12時、13時半〜15時半）

〈宮城県▽13日＝山元町中央公民館（10〜12時）▽山元町役場坂元支所（13時半〜15時半）▽14日＝亘理町の逢隈小（10〜12時）と吉田小（13時半〜15時半）▽15日＝亘理町・中央児童センター（10〜15時）

〈福島県▽12日＝相馬市役所5階会議室（10〜15時）無料点検は不可▽喜多方市・押切川公園体育館（13時半〜15時半）▽14日＝伊達市・梁川体育館（13時半〜15時半）

〈茨城県▽無料点検は不可▽12日＝北茨城市民体育館（10〜12時）と高萩市総合福祉センター（13時半〜15時半）

〈千葉県▽14日＝旭市立総合体育館（10〜12時、13時半〜15時半）

労働・雇用

■従業員、失業した人向け

事業所が震災し、休業を余儀なくされて賃金を受け取れない従業員は、離職していなくても失業給付が受けられる。雇用保険に6カ月以上加入し、事業主がハローワークに「休業証明書」を出していることなどが条件。金額は、被災までの直近6カ月の平均給与を基本に、年収や年齢、保険加入年数などで決定。

勤務中や出勤途中にけがをしたり、亡くなった場合、事業主や病院などによる証明が困難でも労災保険の給付を求めることができる。金額は、被災までの3カ月間の賃金、年齢などで決まる。

企業活動が停止し、賃金が未払いになっている人には、賃金の一部を立て替える「未払賃金立替払制度」がある。

■事業主向け

従業員を解雇せず、休業措置などで雇用を維持した企業には雇用調整助成金が支給される。対象は青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉、長野、新潟の9県の企業。9県以外でも、被災企業と取引関係にある企業などは含まれる。

＊

岩手、宮城、福島3県で被害の大きかった地域にあるハローワーク14カ所の利用時間を8時半〜19時（平日）に拡大。対象は岩手＝釜石、宮古、大船渡、久慈▽宮城＝仙台、石巻、塩釜、気仙沼▽福島＝福島、平、会津若松、郡山、二本松、相馬。

その他

■法務相談

被災地の法務局が臨時の相談所などを設けている。倒壊・流失した家屋の登記、土地建物の権利証や会社の印鑑の紛失などの相談に応じる。

〈盛岡地方法務局▽大船渡市役所内で週2回、面接相談を実施する。今後は12、14、19、21、26、28日の各10〜15時に開く。予約不要。

〈仙台法務局▽臨時の相談所は▽12日＝気仙沼市役所（9〜12時）と南三陸町役場仮庁舎（10〜13時）▽13日＝名取市役所（10〜16時）▽15日＝登米市の登米中と津山若者総合体育館（ともに11〜16時）▽19日＝女川町役場勤労青少年センター（12〜16時）▽20日＝女川町総合体育館（10〜15時）と岩沼市役所（9〜16時）。予約不要。市役所は▽12日＝相馬市役所5階会議室（10〜15時）◆福島市 15日＝あづま総合運動公園体育館（9〜14時）◆会津若松市 21日＝会津若松市文化センター（10〜15時）

■自動車相談

国土交通省は、廃車などの手続きの相談や車両の無料点検などを行う「移動自動車相談所」を開設する。

〈岩手県▽12日＝シープラザ釜石（10〜15時）無料点検は不可▽13日＝宮古小（10時半〜12時）と宮古市・田老総合事務所（13時半〜15時）▽14日＝盛岡市・ふれあいランド（10〜12時）

〈宮城県▽13日＝山元町中央公民館（10〜12時）▽山元町役場坂元支所（13時半〜15時半）▽14日＝亘理町の逢隈小（10〜12時）と吉田小（13時半〜15時半）▽15日＝亘理町・中央児童センター（10〜15時）

〈福島県▽12日＝相馬市役所5階会議室（10〜15時）◆福島市 15日＝あづま総合運動公園体育館（9〜14時）◆会津若松市 21日＝会津若松市文化センター（10〜15時）

■郵便

郵便局会社は沿岸部の被災地で、車両型の移動郵便局15台を配置している。12日の場所は次の通り。（いずれも11〜14時）

〈岩手県▽陸前高田市学校給食センター▽大槌高▽山田町瑞然寺▽旧釜石一中避難所▽釜石市箱崎町7地割10（横瀬前地区）▽大船渡北小

〈宮城県▽石巻市立湊小▽同市牡鹿保健福祉センター▽狐崎浜漁村センター▽南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ▽七ケ浜国際村▽多賀城市総合体育館▽名取市立館腰小▽山元町立坂元中

がんばろう

歌手 鳥羽一郎さん

東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。毎日、震災のニュースを見ながら、心が張り裂ける思いです。

デビュー前、マグロやカツオを追った遠洋漁業時代に水揚げのために入港した港町。そして、歌手としてコンサートで歌いに行った地域や、海難遭児のための「チャリティー漁港（みなとまち）コンサート」でお邪魔した土地。被災地をテレビの報道番組や新聞で見るたびに、「ここも行った、あそこも行ったな」という思い出が次々に出てきます。漁師町の皆様は、心が通うというか、温かさがあってとてもいいんですよね……。

いま被災地はとても大変でしょうし、うかがってもご迷惑だろうけれど、機会があれば、被災者のみなさんを勇気づけたいと思っています。

月並みの言葉しか出てこないのですが、一日も早い復興を祈っています。

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警 0120・801・471
宮城県警 022・221・2000
福島県警 0120・510・186

●交通機関
JR東日本 050・2016・1600
JAL（国内線） 0570・025・071
ANA（国内線） 0570・029・222

●通信・ライフライン
NTT災害用伝言ダイヤル 171
日本郵便 0120・2328・26
東北電力 0120・175・366

●医療
＜放射線被ばく相談＞
▽文部科学省健康相談ホットライン 0120・755・199（9〜21時）
▽放射線医学総合研究所相談窓口 043・290・4003（9〜21時）
＜人工透析＞
▽岩手県 人工透析相談窓口 019・629・5471
▽宮城県 仙台社会保険病院 022・275・3111（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
▽福島県 県地域医療課窓口 024・521・7221
＜その他＞
日本医師会 03・3946・2121
日本糖尿病協会 0120・151・721
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（10〜16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（9〜18時）
てんかん支援ホットライン 054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク 052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談 0120・366・556（平日10〜15時）
岩手弁護士会 019・604・7333（平日13〜16時）
仙台弁護士会 0120・216・151（平日10〜16時）
福島県弁護士会 024・534・1211（平日14〜16時）
あしなが育英会 被災者専用0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話 0120・111・916（13〜22時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン支援センター 0120・99・7777（月〜土16〜21時）
多文化共生マネージャー全国協議会
▽英語 080・3503・9306（他に中国語、スペイン語などの窓口あり）
震災関連の悪質商法110番 0120・214・888（10〜16時。国民生活センター。岩手、宮城、福島3県対象）
＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。

●省庁
住宅の補修・再建（国交省開設）0120・330・712
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局） 022・721・7078
中小企業相談（経産省） 0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構） 0120・707・118

●金融機関など
岩手銀行 0120・064・626
七十七銀行 0120・78・1177
東邦銀行 0120・104・157
ゆうちょ銀行 0120・108・420
東北労働金庫 022・723・1111
住宅金融支援機構 0120・086・353
日本政策金融公庫 0120・154・505
そんがいほけん相談室（日本損保協会）0120・107・808または03・3255・1306
地震保険契約会社照会センター0120・501・331
生命保険相談所（生保協会） 0120・226・026
災害地域生保契約照会センター0120・001・731

■移転した役所と連絡先■

＜岩手県＞
陸前高田市 エコタウン鳴石 ☎0192・59・2111
釜石市 市教育センター ☎0193・23・2420
大槌町 町中央公民館 ☎080・1851・4911

＜宮城県＞
女川町 女川第二小学校 ☎0225・54・3131
南三陸町 町総合体育館ベイサイドアリーナ ☎0226・46・2600

＜福島県＞
広野町 小野町民体育館 ☎0247・72・6246（15日以降、いわき市の民間事業所に再移転）
楢葉町 会津美里町本郷庁舎 ☎0242・56・2155
富岡町 郡山・ビッグパレット ☎024・946・8813
川内村 郡山・ビッグパレット ☎024・946・8828
大熊町 会津若松市追手町第2庁舎 ☎0242・26・3844
双葉町 旧埼玉県立騎西高 ☎0480・73・6880
浪江町 二本松市東和支所 ☎0243・46・4736〜9
葛尾村 会津坂下町・川西公民館 ☎0242・83・2651
★双葉郡支援センター ☎0120・006・865
福島県双葉郡の上記8町村から避難した住民に連絡を呼び掛けている。土日を含む8〜22時。

希望新聞

声 被災地から

岩手

避難先の陸前高田市立第一中学校でふるまわれたショートケーキを食べた同市立高田小4年、村上彩香さん(10)「イチゴのケーキはクリスマス以来です。一口ずつかみしめたら、生クリームは牛乳の味がしました。妹や友達と一緒に『おいしいね』と言いながら食べました。職人さんが目の前でケーキを手作りしてくれたので、楽しかったです」

野田村役場近くでバイクの残骸を集めていた、村のバイク店経営、近藤健二さん(54)「消防団の分団長です。地震時は仲間と水門を閉め、消防車で高台へ逃げましたが、店も自宅も流され、分団員1人を失いました。今は店のバイクの残骸を集めています。捨てるしかないのですが、愛着があり放置できません。いつか店を再建したいです」

宮古市の津軽石小の避難所でリーダー役の若狭斌(あきら)さん(72)「震災からの1カ月間は短いようで長かった。つらかったです。支援物資はかなりそろっていますが、今一番欲しいものは使い捨て食器。これまで学校給食用の食器を使わせてもらっていましたが、学校が始まれば使えません。ひげは震災当日からそっていません。避難生活が終わるまではこのままのつもりです」

ケーキをほおばる(4人のうち左から)村上彩香さん、佐藤七海(ななみ)さん(10)ら=石井諭撮影

「避難生活が終わるまでひげをそらない」と話す若狭斌さん =三木陽介撮影

バイクの残骸を集める近藤健二さん=塩田彩撮影

陸前高田市の松山公民館に避難している同市の桜井光嘉さん(66)「建設会社に勤めていたころ、阪神大震災被災者の仮設住宅を建てました。まさか逆の立場になるとは……。先日、救援物資として頂いたジャンパーのポケットに匿名の手紙が入っていました。『震災を経験したから、苦しみが分かります(兵庫県明石市)』。私たちも絶対復興してみせます」

ロウソクの明かりで手紙を読み返す桜井光嘉さん =沢田勇撮影

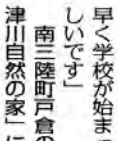
宮城

避難所になっている仙台市若林区の六郷中学校で、13日に新学期が始まる同中2年、大友孝治さん(13)と同、大友優輝さん(13)「今日、筆記用具や書道の道具など文房具の救援物資が届きました。津波でほとんどなくなってしまったので、助かります。サッカーやカードゲームで遊んでいますが、退屈なので、早く学校が始まってほしいです」

南三陸町戸倉の「志津川自然の家」に避難しているアルバイト、三浦和之さん(29)「避難所で子どもたちの遊び相手をしています。地震直後は不安そうな顔だった子どもたちにも徐々に笑顔が戻ってきました。ゲーム機を支給され喜んでいますが、避難所では、体を使った遊びができないのでかわいそうです」

女川町の旅館「海泉閣」に避難する同町小乗浜のパート職員、岸しげこさん(57)「自宅も車も流されました。生きてよかったのか悪かったのか。一人になると、津波のことがフラッシュバックします。誰かの声を聞いていないと、不安な気持ちになります。今は避難生活だからいいですが、今後の生活も不安です」

三浦和之さん



岸しげこさん

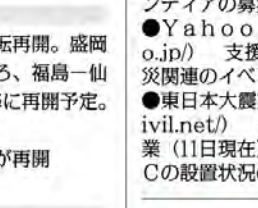
文房具 ありがとう

文房具を見せる大友孝治さん(左)と大友優輝さん =杉本修作撮影

(右から)三瓶美紀子さんといずれも孫の長尾真菜美さん、三瓶昊(そら)くん=渡辺暢撮影

福島

福島市役所飯坂支所に避難している浪江町請戸の会社員、横山透さん(48)「親代わりのような近所の老夫婦がいまだに行方不明です。一刻も早く捜したいのですが、自宅は福島第1原発の10キロ圏内で戻れません。浪江町は地震があった日から時が止まったままなんです」



横山透さん(左)と妻の信子さん(53) =伊藤直孝撮影

福島市役所飯坂支所に避難している浪江町権現堂上蔵役目の主婦、天野幸江さん(38)「地震の日は長女の中学校の卒業式があった日でした。卒業証書も卒業アルバムも置いたまま制服で逃げてきた長女がかわいそうです。高校をどうするかも悩みです」

天野幸江さん

郡山市のイベントホール「ビッグパレットふくしま」に家族5人で避難している富岡町の農業、三瓶美紀子さん(61)「生後5カ月の孫が風邪気味で、衛生面が気になります。小学生の孫娘の学校のことも心配です。子どもが少ない地域のためか、皆さんが孫をかわいがってくれるので、ありがたいです」

ボランティア

新コーナー「ボランティア」では、現地での活動状況や支援活動の注意事項、何が必要とされているか、などの情報を提供します。

まずは情報収集を

ボランティア活動を支援する東京ボランティア・市民活動センター(東京都新宿区)には震災後、「被災地へ行きたい」という問い合わせが相次いでいる。同センター専門員の池澤良子さん(42)は「被災者を助けたい、という温かい気持ちはありがたい」と話す。

同センターは5日から順次、宮城県内の被災地にボランティアを派遣している。9日に第3期の説明会参加者を募集したところ、受け付け開始から1時間足らずで100人の定員に達した。

池澤さんは「被災地は広範囲に及んでいるうえ、地震、津波、原発の事故と、地域によって被災状況も異なる。どういうボランティアが必要とされているか知ることが大切」と話す。各地にボランティアセンターが設置されているが、電話での問い合わせに対応するのは負担が大きい。まずはインターネットなどで発信されている情報を集めてほしいという。「道路や水道が復旧したり、現地の状況は刻々と変わる。常に新しい情報を確認して」と池澤さん。

被災地では今も余震が続いており、単独での現地入りは危険も伴う。現在は自分で食料や寝る場所などを確保できる「自己完結型」ボランティアを求められるケースが多い。災害ボランティアの経験がない人は、支援活動に取り組む団体に加入したり、NPOなどの募集に応じてグループでの活動に参加するのも一つの方法だ。

被災地での仕事は、がれきの撤去や住宅の掃除などが多いが、求められる仕事は状況に応じて異なる。ボランティアの心構えとして、池澤さんは「被災地では被災者が主役。『自分がやりたいこと』より『被災者がしてほしいこと』を大事にしてほしい」と呼びかける。同センターのウェブサイトはwww.tvac.or.jp。【五味香織】

ボランティアセンターの受付で名前を書いたテープを張ってもらう女性 =宮城県亘理町で6日、幾島健太郎撮影

Q ボランティアが効率よく分担する方法は?
A 「できますゼッケン」使ってみて

神戸市などが開発した「できますゼッケン」

デザインを通じて防災や復旧・復興の支援に取り組む「『デザイン都市・神戸』推進会議」メンバーの神戸市デザイン都市推進室主査、本田亘さん(36)に聞きました。

阪神大震災では、多くのボランティアが支援に駆け付けてくれましたが、誰が何をできるのか把握するのに手間取りました。その教訓を生かそうと開発したのが「できますゼッケン」です。

A4サイズの紙製で、4色で色分けしてあります。赤は「医療・介護」で、健康面の支援▽緑は「生活」で、力仕事やトラックの運転など被災者の日常支援▽青は「ことば」で、英語や手話など被災者同士や支援者などの会話を支援▽黄は「専門技能」で、大工や法律など特別技能での支援―と分けました。

ボランティアや被災者が、「ベビーシッター」など具体的にできる項目と、名前かニックネームを自分で書き込み、ガムテープで背中に張って使います。自分の技能を分かりやすく伝えるだけでなく、被災者とのコミュニケーションを促す効果も期待できます。

ゼッケンは被災地で使えるようにと、神戸から持ち込む予定ですが、ウエブサイト(issuepl usdesign.jp/dekimasu/)でもダウンロードできます。【吉川雄策、写真も】

東京・町田で心のケア講座

国際協力NGOの地球市民ACTかながわ(横浜中区)は「こころのケア・災害ボランティア育成講座」を東京都町田市原町田の勝楽寺で開く。5月4日10~18時。定員約20人。参加費3000円(炊き出しシミュレーションの昼食代込み)。

被災者の感情の読み解き方とともに、支援する側の燃え尽き予防策も伝える。氏名▽住所▽電話番号▽メールアドレス▽生年月日▽所属(学校、勤務先)――を明記し同NGOのメール(portat@tpak.org)へ。問い合わせは☎045・622・9661。

大阪で初心者対象の説明会

大阪ボランティア協会は、初心者対象の「災害ボランティア説明会」を大阪市福島区吉野4、大阪NPOプラザで開く。20日14時から20人程度。活動の注意点や、被災地に行かず地元でもできることなどを解説する。申し込みはウェブサイト(www.osakavol.org/)から。

義援金の主な受付窓口

※ゆうちょ銀行(郵便局)の窓口での通常払い込みは手数料無料。他の銀行の本支店間の窓口振り込みも手数料無料。

●政府
・三菱東京UFJ銀行東京営業部 普通0322313
・三井住友銀行東京公務部 普通0167524
・ゆうちょ銀行 00130・6・623461
口座名はいずれも「東日本大震災義援金政府窓口」

※みずほ銀行にも開設予定。

●日本赤十字社
・ゆうちょ銀行 00140・8・507
「日本赤十字社 東日本大震災義援金」

※三井住友、三菱東京UFJの各銀行でも受け付け

●中央共同募金会
・ゆうちょ銀行 00170・6・518
「中央共同募金会 東日本大震災義援金」

※りそな、三菱東京UFJの各銀行などでも受け付け

福島―仙台間でリレー号を運行

JR東日本は11日、東日本大震災で寸断されている東北方面の運行計画を発表した。

東北新幹線は那須塩原―福島間が12日、福島―仙台間は27日ごろ運転再開。仙台方面は12日以降、在来線の東北線を使って福島―仙台間に臨時快速「新幹線リレー号」を上下16本運行し東京―仙台間を最速3時間2分で結ぶ。発生から33日目で首都圏から新幹線と在来線を乗り継いでの被災地入りが可能となる。

東北新幹線の仙台以北は震度6強を記録した7日の余震で新たな損傷などが360カ所確認され、修復が必要な箇所は計440カ所と余震前の約5倍に膨れ上がったため仙台―一ノ関間の運転再開は今月末になる見通し。

一ノ関―盛岡間は24日ごろ、盛岡―新青森間は13日に再開。東京―新青森間の全線再開は今月末をメドに復旧作業を進める。【斎藤正利】

■主な鉄道の運行状況■

11日夕に発生した地震の影響で、運転が休止されたり、再開時期がずれ込む可能性がある。JR東日本によると同日午後7時現在、山形新幹線が運転を見合わせ、東北、上越、長野の各新幹線にも遅れが出た。在来線も磐越東線、水郡線などが運転を見合わせた。

●新幹線
<東北新幹線>12日に那須塩原―福島で運転再開。盛岡―新青森は13日、一ノ関―盛岡は24日ごろ、福島―仙台は27日ごろ、仙台―一ノ関は4月末以降に再開予定。東京―那須塩原は運転
<山形新幹線>12日に全線(東京―新庄)が再開
<秋田新幹線>盛岡―秋田で運行

●JR在来線の再開見込み
＊12日は釜石線全線、東北線の福島―仙台、只見線の会津川口―只見、常磐線の亘理―岩沼が再開予定
<東北線>一ノ関―水沢は15日、仙台―一ノ関、岩切―利府は今月下旬、黒磯―安積永盛は中旬
<山田線>上米内―宮古は13日ごろ
<大船渡線>一ノ関―気仙沼は今月下旬
<仙山線>山寺―山形は13日ごろ、仙台―愛子は14日ごろ、愛子―山寺は下旬
<仙石線>あおば通―小鶴新田は15日ごろ、小鶴新田―東塩釜は今月中旬
<石巻線>小牛田―前谷地は今月中旬
<陸羽東線>全線(小牛田―新庄)が今月中旬
<磐越東線>船引―小野新町は13日、小野新町―いわきは15日
<水郡線>水戸―常陸青柳は15日ごろ

●その他
<三陸鉄道北リアス線>宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
<仙台市地下鉄>29日に全面再開予定。富沢―台原は運行
<阿武隈急行>梁川―富野が13日、瀬上―保原、角田―槻木は今月中旬に再開予定。保原―梁川は運行

■公営住宅の被災者受け入れ■

★被災者向け公営住宅等情報センター
フリーダイヤル 0120・297・722
(9~18時)

被災者が入居可能な全国の公営住宅、UR賃貸住宅などの情報を紹介する。入居は原則無料。希望先の住宅を管理する自治体などに電話が転送される。有料の民間賃貸住宅も案内している。

■近隣都道県の避難者受け入れ先■

<北海道>道外被災県緊急支援対策本部 ☎0120・113・926
<青森県>県生活再建・産業復興局 ☎017・734・9581
<岩手県>
県内陸部の宿泊施設で受け入れ。
県政策地域部の専用窓口 ☎019・629・5216
<秋田県>県被災者受入支援チーム ☎018・860・4504
<山形県>県避難者支援班 ☎023・625・1605、1608、023・630・3100
<新潟県>県避難者対策班☎025・282・1747
<茨城県>県避難対策班 ☎029・301・6735
<栃木県>相談窓口=道の駅「那須高原友愛の森」 ☎0287・78・3033
<群馬県>県避難者受入れ支援センター ☎0270・26・9420~1
<東京都>都総合防災部 ☎03・5320・4007
<神奈川県>県災害支援担当☎045・210・5970
<埼玉県>県避難者総合相談センター ☎048・601・2220
<千葉県>県の避難者センター ☎043・223・3411
<山梨県>県支援対策室 ☎055・223・1519
<長野県>県の受入相談 ☎026・235・7407

■主なバスの運行状況■

<岩手県北バス>☎019・654・5814
12日から盛岡―福島で運行開始。盛岡―仙台なども運行。
<岩手県交通>☎019・654・7755
12日から釜石―大船渡、釜石―道の駅やまだの路線バスを運行予定。釜石―仙台などは運行。
<ミヤコーバス>☎022・771・5310
仙台駅から相馬市役所、保原バスセンター、本塩釜駅、利府駅などに臨時運行。
<福島交通>☎024・531・2706(福島支社) ☎024・943・1651(郡山支社)
12日から福島―盛岡で運行開始。郡山―盛岡、福島―仙台は運行。那須塩原―郡山、小野―船引は12日まで。

■主な国内線の運航状況■

12日以降の当面の予定。便数は1日当たり(臨時便を含む)。
<花巻空港> 羽田便=3往復▽伊丹便=4~5往復▽新千歳便=2往復(いずれも日本航空およびジェイエア)
<山形空港> 羽田便=日本航空5往復▽伊丹便=日本航空6往復、全日空2往復▽新千歳便=日本航空2往復▽中部便=全日空1往復
<仙台空港> 13日から旅客便の運航を再開。羽田便=全日空3往復、日本航空1往復▽伊丹便=日本航空2往復
<福島空港> 新千歳便=2往復▽伊丹便=4往復(いずれも全日空)

ミニニュース

■大学生協が24時間無料電話相談 全国大学生活協同組合連合会(東京都杉並区)などは、東日本大震災で被災し、体調不良となったり心の傷を負った学生のために24時間無料相談ダイヤル(☎0120・556・765)を開設した。同連合会加盟の約210大学・短大・高専の学生が対象。看護師や精神保健福祉士らが相談に応じる。6月30日24時まで。